

第59回X線分析討論会 協賛広告掲載のお願い

謹啓

貴社、ますますご隆盛のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、本年2023年10月21日(土)と10月22日(日)の2日間、X線分析研究懇談会の主催により、第59回X線分析討論会を、東京都世田谷区にて開催いたします。X線分析研究懇談会は公益社団法人日本分析化学会の下部組織で、広島大学大学院先進理工系科学研究科教授 早川慎二郎委員長の下、31名の運営委員および10名の参与で運営され、企業・団体会員、個人会員あわせて130名ほどが参加しています。

X線分析法は、あらゆる産業、学術、環境、医療分野等における品質管理や開発研究の強力なツールとして活用されています。X線分析討論会は例年、産官学の研究者および学生をあわせて170名ほどが集まり、さまざまなX線分光分析法、X線回折・散乱法、イメージング法に関する分析装置、分析手法および関連技術の開発と応用について最新の研究テーマに関する活発な議論を行い、多くの有意義な研究成果を展開し、X線分析の活用拡大につながっております。2020年からの2年間はオンライン形式での開催を余儀なくされてきましたが、昨年は3年ぶりの対面方式により兵庫県にて開催し、大盛況のうちに終えることができました。本年は5年ぶりの東京開催として、依頼講演、一般講演、ポスター発表を予定しております。

本討論会の開催にあたり、講演要旨集(A4版、本文約200ページ、一般参加者へはPDF版配布予定)を発行いたします。つきましては厳しい時勢に誠に恐縮ではございますが、第59回X線分析討論会講演要旨集への貴社の協賛(広告掲載)をお願い申し上げます。運営におきましてはできる限りの予算緊縮を心がけ、またできる限り多くの研究者・技術者に参加して頂き、有意義な討論会となるよう鋭意努力をいたす所存でございます。また約30の学協会に協賛をお願いし、広報にも務めてまいります。

本大会の成功と今後のX線分析研究の発展、実用的な応用、人材育成を支えるため、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2023年2月

(公社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会
第59回X線分析討論会 実行委員長
東京都市大学 理工学部 応用化学科
教授 江場 宏美

第59回 X線分析討論会 概要

公式 Web サイト: <https://xbun.jsac.jp/conference/no59.html>

開催期間: 2023年10月21日(土)～22日(日)

開催場所: 東京都市大学 世田谷キャンパス(東京都世田谷区玉堤1-28-1)

主催: (公社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会

討論会形式: 特別講演(浅田賞受賞講演), 依頼講演(3～4件), 一般・学生講演, ポスター発表計画

日程: 講演申込締切 2023年7月中旬頃

講演要旨締切 2023年9月初旬頃

予約登録締切 2023年10月初旬頃

予定参加人数: 約 170 名

実行委員会: 江場 宏美(委員長, 東京都市大学理工学部)

沼子 千弥(副委員長, 千葉大学大学院理学研究院)

中野 和彦(麻布大学生命・環境科学部)

国村 伸祐(東京理科大学工学部)

阿部 善也(東京電機大学工学研究科)

沖 充浩(東芝)

開催状況(過去8回):

第51回	2015年10月29～30日	姫路・西はりま地場産業センター	参加168名, 講演22件, ポスター63件
第52回	2016年10月26～28日	筑波大学東京キャンパス	参加176名, 講演22件, ポスター71件
第53回	2017年10月26～28日	徳島大学常三島キャンパス	参加166名, 講演28件, ポスター65件
第54回	2018年10月25～26日	東京理科大学神楽坂キャンパス	参加211名, 講演26件, ポスター70件
第55回	2019年10月30～31日	コラッセふくしま多目的ホール	参加119名, 講演23件, ポスター52件
第56回	2020年10月28～29日	大阪市立大学(オンライン開催)	参加120名, 講演63件
第57回	2021年11月5～6日	福岡大学(オンライン開催)	参加116名, 講演55件
第58回	2022年11月10～11日	イーグレひめじ・あいめっせホール, 他	参加162名, 講演30件, ポスター51件